

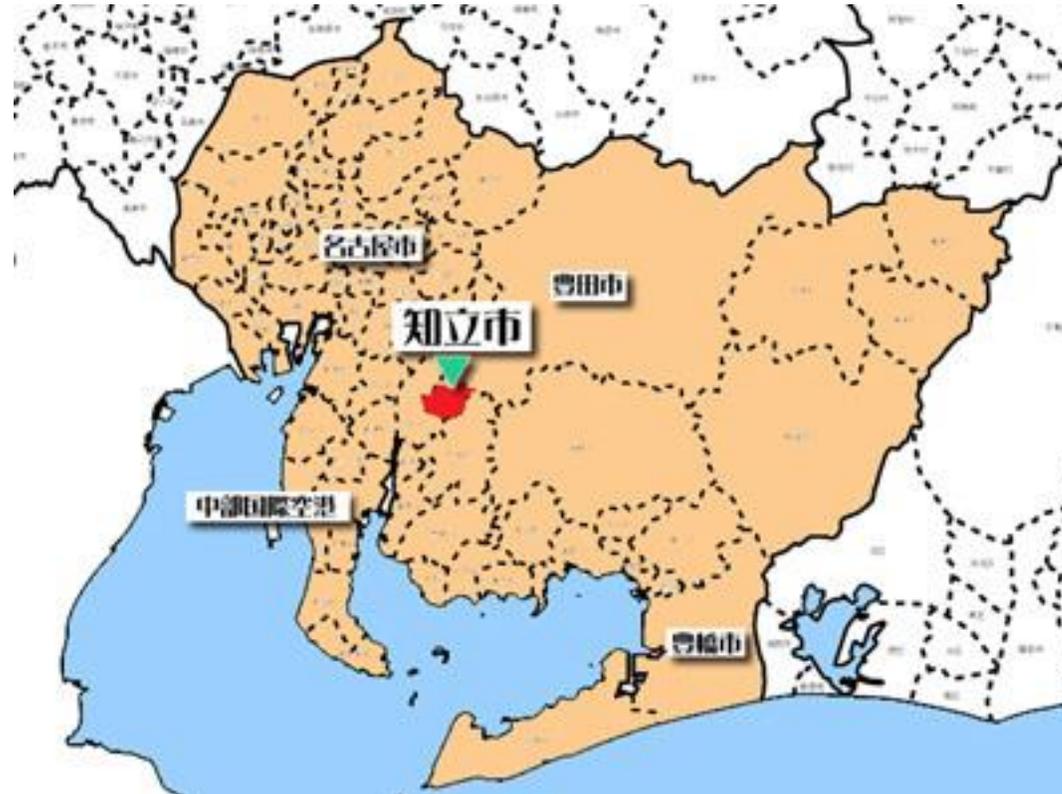
地域福祉から多文化共生へ ～集住地域「知立市昭和地区」の事例から～



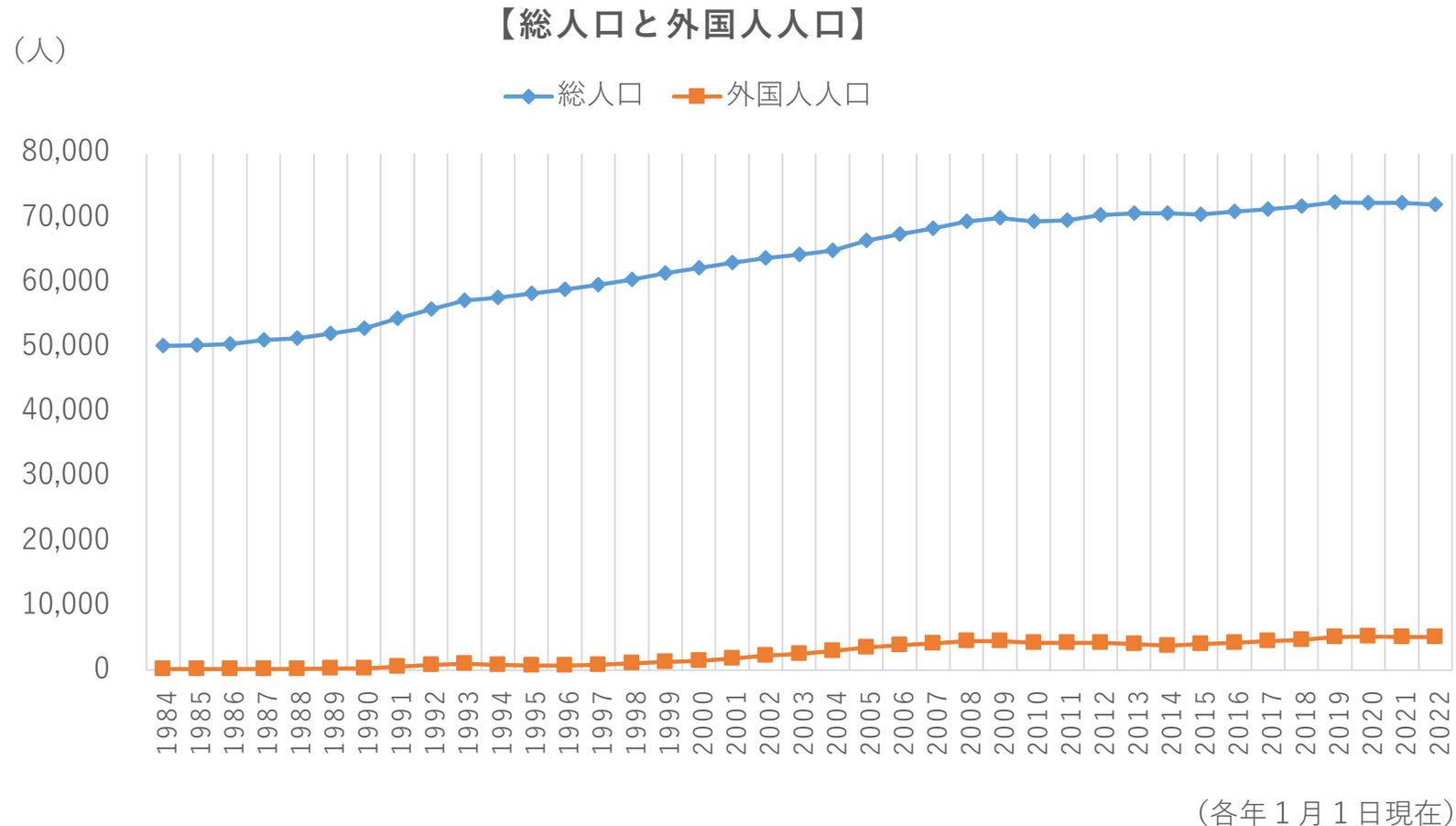
ちりゅう
【知立市 企画政策課 地方創生SDGs 係】
係長 佐藤浩二

知立市について

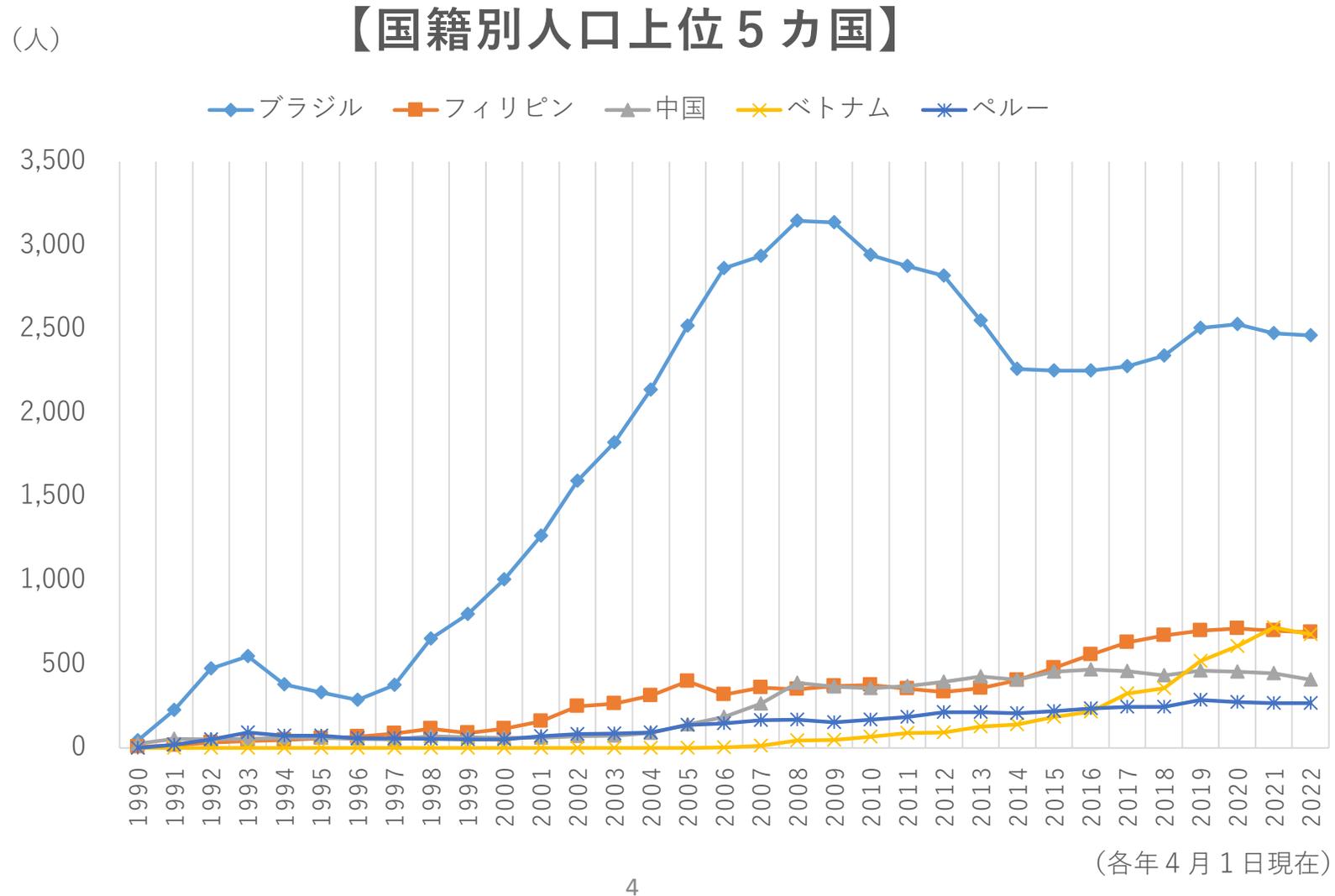
- 愛知県のほぼ中央部に位置
- 主要国・県道、名鉄本線・三河線が交差する交通の要衝



- 総人口72, 139人 内外国人5, 252人 (R4.12.1)
- 外国人比率 約7. 3% (県内上位)
- 自動車産業有する西三河又は名古屋市のベッドタウン
- 人口は増加傾向だが近年は特に外国人人口の増加率が高い



- 外国人人口の国籍別ではブラジルが約48%
- ベトナムが特に増加傾向



【知立市の多文化共生に関わる主な取り組み】

○[多文化子育てサロン「みらいJr」](#)

⇒外国人親子と日本人親子の交流、日本の文化体験、相談支援
([中日新聞記事](#))

○日本語学習支援補助金

⇒外国にルーツのある児童生徒への学習支援を行う団体に対する補助金交付
例) 放課後学習支援教室「みらい」 ([中日新聞記事](#))

○多文化共生センター「[もやいこハウス](#)」の設置

⇒知立団地商店街内に地域の交流に使える貸出施設を設置
活用例) 学習支援教室「みらい」、ギター教室「[昭和☆みんなの音楽室♪](#)」

○外国人相談員の設置

⇒ブラジル人の外国人相談員を市役所ともやいこハウスに配置

○[学校での早期適応教室（日本語、習慣を学ぶ）・取り出し授業](#)

⇒国語・算数を日本語レベルによって、こだま・ひかり・のぞみに分け実施
(知立東小学校 ([中日新聞記事](#)))

○多言語対応

⇒[テレビ電話通訳](#)、[SNS](#)、[広報](#)、[ごみ出しカレンダー](#)、[防災ガイドブック](#)

■知立市 地域福祉計画より

知立市の地域福祉の課題

孤独死

ひきこもり

児童虐待

ダブルケア

●支援を必要とする人が増加しています。

本市は比較的若い世代が多いですが、少子高齢化が進行しています。また、現代社会における福祉課題の多様化により、支援が必要な人が増加しています。

高齢化率^(12P参照)

H2年

H22年

H52年(推計)

7.9%

16.6%

27.6%

要支援・要介護認定者^(15P参照)

H23年

H27年

1,406人

1,896人

日本語教育が必要な児童生徒^(17P参照)

H23年

H27年

204人

292人

被生活保護世帯^(18P参照)

H21年

H27年

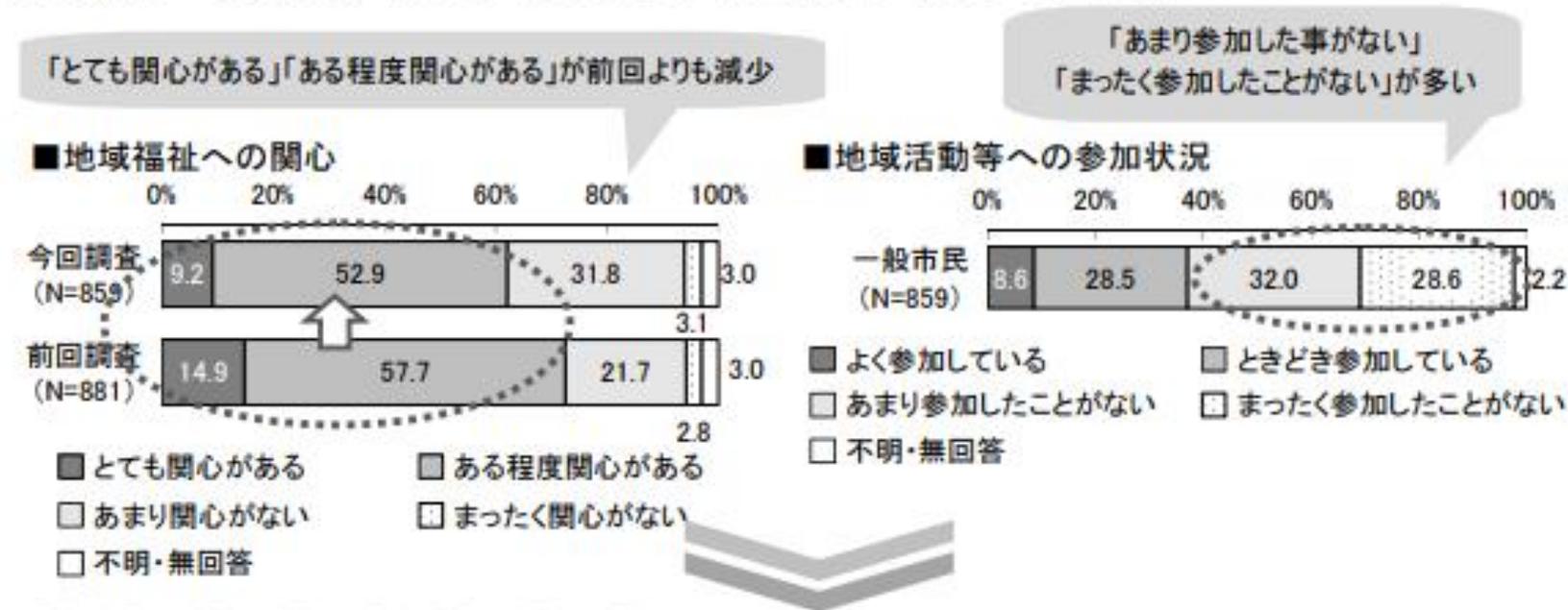
184人

392人

■知立市 地域福祉計画より

●地域力が低下しています。

アンケート結果によると、地域福祉に関心がある人は前回よりも減少しています。また、地域活動への参加も、『していない』という回答が多くなっています。

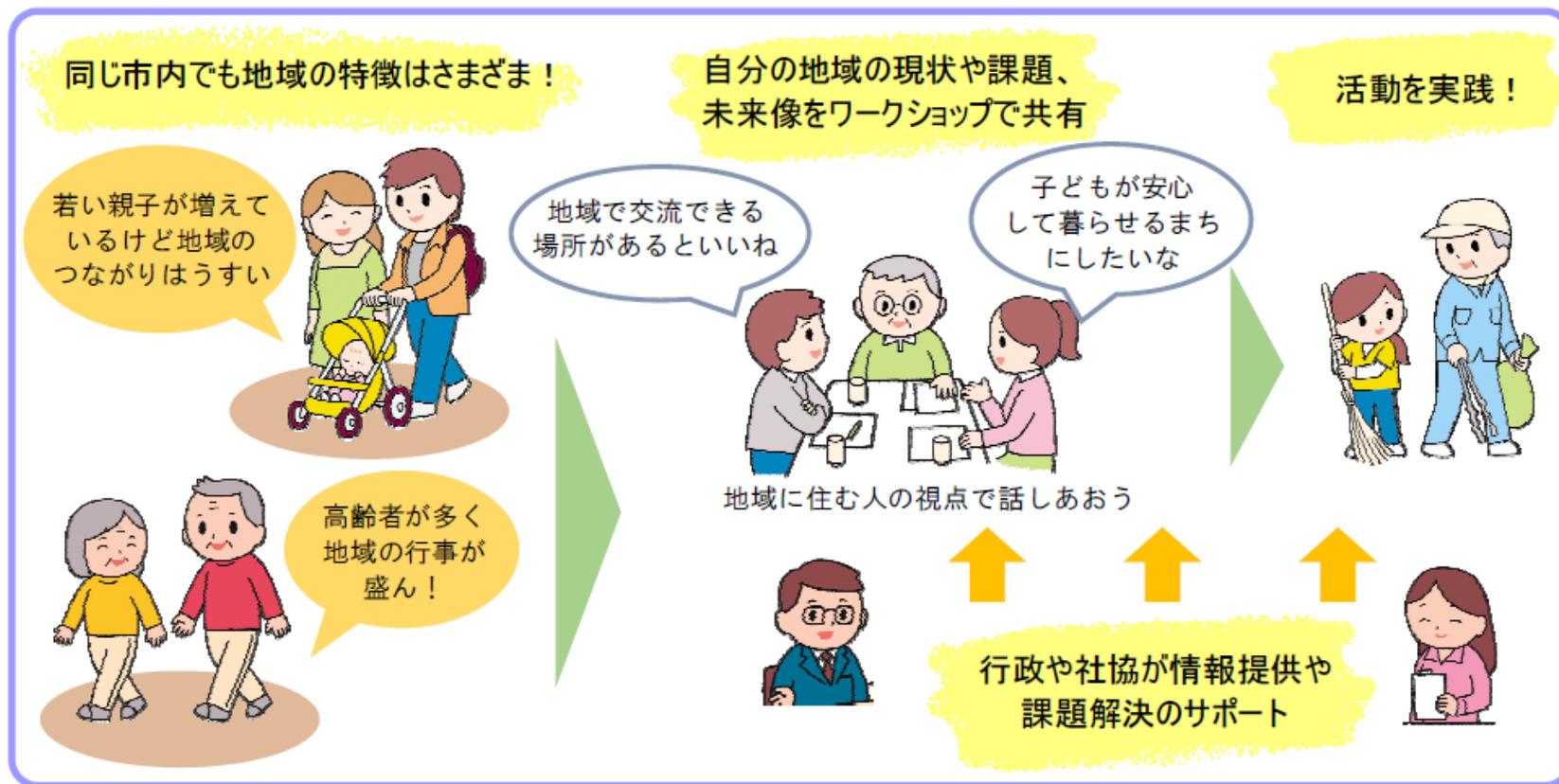


解決するには…？

これらの課題解決のためには、行政サービスをより充実させればよいでしょうか？
しかし、財政的にも行政サービスの提供には限界があります。また、行政サービスに頼ることが、地域で自ら課題を解決し、地域力を高める機会を奪ってしまうことも懸念されます。

■知立市 地域福祉計画より

■重点プロジェクトのイメージ



💡 期待できること

- 各地域における地域力の向上や地域コミュニティの活性化が期待されます！
- さまざまな分野で多様化する福祉課題に対して、一体的かつ横断的に取り組むことが可能となります！

★そして、「昭和未来会議」へ・・・



【知立市昭和地区】

- 外国人住民のうち約半数が知立団地を有する「昭和地区」に在住
- 「昭和地区」約6,300人の内、日本人の高齢化率約42%
- 「昭和地区」の外国人人口比率約44% (団地内は約65%)



★平成28年 6月 昭和未来会議スタート！



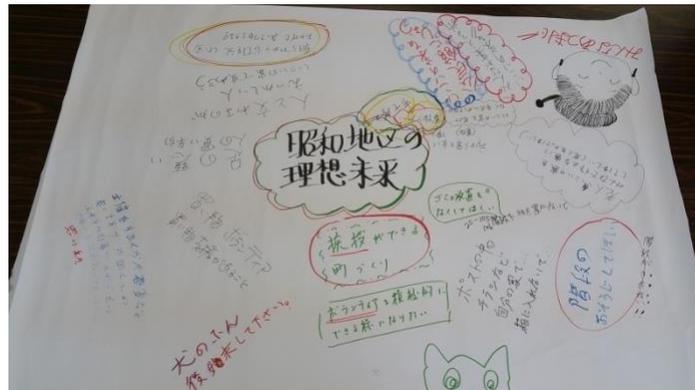
■初回のテーマは「理想の昭和地区を考えよう」



★平成28年 6月 昭和未来会議スタート！

■ ワールドカフェ方式のワークショップを開催

- ★質問(テーマ)設定がポイント
今回は「昭和の理想の未来」
- ・全員参加で機運づくり
- ・普段の会議とは違った雰囲気
- ・多様な意見を出す、聞く
- ・地域への認識を深める
- ・気づきを得る



★理想の昭和地区を考えよう

- ワールドカフェという手法で、「昭和地区の理想の未来」をテーマに意見をかわしました。この中で...
- それぞれの生き方、経験をもとにした 多様な考え方や価値観がある ことを共有しました。
- 一方で、昭和地区の多くの皆さんが 共通で考えている課題と理想の未来 が見えてきました。

★理想の昭和地区を考えよう

■昭和地区の多くの皆さんが共通で考えている「みんなの理想の未来」を、大きく分けて2つにまとめました。

① みんなが安心して暮らす昭和に！

（高齢者も外国籍住民も若者も子どもたちも）

② 若者にとって魅力ある昭和に！

（若者の定住移住が必要。まずは現在、昭和に暮らす若者の活躍が必要。地域の応援も必要）

★みんなの理想の未来に向けて
『やってみたいこと』を考えよう

■次に、『みんなの理想の未来』に向けて「やってみたいこと」について
意見を出し合いました。

様々なアイデアが提言される中、意見の多かった4分野に絞って
話し合いが続き、それぞれアクションプロジェクトとして、取り組みが始まって
いきました。

<意見の多かった4分野>

イベント

交流の場

支援

PR

★アクションプロジェクト

【イベント】

★「昭和☆まもりんピック」の開催

【日常的な交流の場】

★「もやいこ農園」の開設

★「昭和☆みんなの音楽室♪」の開催

【支援が必要な人への対策】

★「昭和ケア会議」の設置

★「昭和☆認知笑劇団」の設立

【地域の魅力のPR】

★「昭和☆PRプロジェクト」の設立

★「昭和☆まもりんピック」 開催



- ・防災運動会
- ・サッカー交流
- ・多国籍炊き出し
- ・防災講座 等



















